

# 神庭通信

(かにわ つうしん)



平成28年度 校長室だより

第10号 H29. 1. 16



新年を迎え、気持ちも新たに3学期がスタートいたしました。いっそう寒さが厳しくなり、静かに澄んだ朝の空気はきりっとして身が引き締まります。始業式では「春の海」の音楽とともにお正月の挨拶をしました。また今年の干支「とり年」に生まれた児童の発表もありました。今年が皆さまにとって良い年になりますよう、心より願っております。

さて、3学期は1年間のまとめの学期です。そして高等部3年生にとっては、学校生活最後の学期となります。学校の1年間の中では最も短い学期でもありますので、ぜひ一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

寒い日が続き、空気も乾燥しています。引き続き手洗いやうがいを積極的に行ったり、保温や保湿に注意したりして、元気な毎日を送っていきましょう。

1月初めの授業では書き初めをするクラスも多く、廊下には一人ひとりが心を込めて書き上げた様々な作品が並んでいます。眺めていると、真っ白な紙に向かって子どもたちが描いている様子が目に浮かんできます。どれも個性豊かで素敵なものばかりです。選ぶ言葉にも個性が光ります。機会があればぜひご覧いただきたいと思います。

児童生徒一人ひとりの成長を心から願い、3学期も取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



冬休みの最終日、1月9日は成人の日でした。2年前の卒業生が今年20歳を迎えました。大人になった実感は急にわくものではないかもしれませんが、成人式を迎えた卒業生たちは、ここまで育ててくれたことへの感謝の思いを笑顔や言葉で周囲の人へ伝えていたのではないのでしょうか。お会いした保護者の方は「これまでの事を振り返ると、長いような短いような20年でした」と感慨深げに話していらっしゃいました。

人は、人の中で育っていきます。子どもたちをいつも見守り、様々な形で応援し、心にとめて下さっているたくさんの暖かい支えを実感するとともに、学校も大きな役割を担っていることをあらためて感じることでできた成人の日でした。